



早期発見&対応が重要

若年性認知症について



地域福祉センターほのか
丹野 保健師

認知症は高齢者の病気！そんな誤解をされている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

実際には働き盛りの年代でも認知症になることがあり、65歳未満で認知症の症状がある場合を「若年性認知症」と言います。

厚生労働省の調査結果では全国で3万8千人の患者さんがいると公表されていますが、実際にはその3倍はいるだろうと言われています。

若年性認知症は最近発見された病気ではなく、約100年前にアルツハイマー博士が最初に報告した患者さんは50歳代の女性でした。

若年性認知症は男性の方が女性の2倍多いと言われていますが、いずれにしても若い世代での発症は、社会的、経済的、家族の介護負担等、高齢期とは違った苦労があります。少しずつ社会的な整備がされはじめ、サービスや制度利用ができるようになってきてはいるものの、老年性のものと比べ症状の進行が早い傾向もあることから、初期症状を見逃さず、重症化しないうちに早い段階で治療することが重要です。

若年性認知症の初期症状

- 頭痛、めまいなどの回数が増えた
- 他人への配慮がなくなり、周囲の人から自己中心的になったと言われることが増えた
- 口人の名前が思い出せないことが増えた
- 脈絡のない文章を書いてしまうことがある
- 通い慣れた道のはずなのに迷ってしまうことがある
- 住所や日付を書き間違えることが増えた
- 重要だと思っていたはずの約束さえ忘れる回数が増えた
- 仕事の能率が下がったり、台所での作業も要領が悪くなった
- 最近、ムキになったり怒りっぽくなった気がする

チェック事項に該当するからと言って必ずしも認知症と断定することはできませんが、気になることがあれば地域福祉センター健康推進係(☎52-3333)へご相談ください。

編集後記

○生まれて初めて「白いトウモロコシ」を食べました。フルーツのようなシャキシャキとした食感と、口に入れて噛んだときに広がるミルクのような甘さ、さらには最後までみずみずしさを失わずいつまでも口の中に残り続ける濃厚でジュシーな果汁。これまでの「トウモロコシは黄色」という私の中の常識を打ち破るだけでなく、野菜とは思えない極上の美味しさに出会えた瞬間でした。 (お)

人の動き

●世帯数	1,553 世帯 (±0 世帯)
●人 □	3,223 人 (-10人)
●男1,505人(-3人) 女1,718人(-7人)	

平成25年 8月31日現在()内は7月末比

喜びと悲しみ(敬称略)

- ご出生おめでとうございます
○中堀俊明 女児 小夏(こなつ) 心和 8/10
- ご結婚おめでとうございます
○後藤聡太・遠藤里佳 拓殖 8/17
- お悔やみ申し上げます
○三浦ナカ子 82歳 境野 8/9
○阿部久實子 71歳 勝山新生 8/22